



新 謹
年 賀

龍 翔

新年明けまして
おめでとうございます

昨年3月11日に起こった東日本大震災は、多くの犠牲者と未曾有の大被害を出し、加えて、福島原発事故は根本的な解決を見ないまま今まで到っており、日本の国家にとってまさに甚大な悪影響を及ぼしています。

また、紀伊半島を中心とする集中豪雨による被害をはじめ、日本は災害の多い年でありました。

「想定外」という言葉が良く使われましたが、こうした災害に限らず想定外の範囲とは、人それぞれの考え方によって異なるだけで、世の中で起こるほとんどの事は本当は全て想定しておかなければならない範囲の中の出来事なのかもしれません。

今日の日本は、少子高齢化問題、莫大な財政赤字問題等の深刻な問題が山積みし、増え続ける社会保障費の増大への抜本的な解決等も含め、一刻も早くその道筋をはっきり示してゆく事が急務の状況にあります。

一方、国外に目を向ければ、ヨーロッパの経済危機が深刻さを増してきていて、世界の経済も極めて危うい状況下であり、我々もこうした問題にもっと強い関心を持つと同時に、国民としての責任と義務をしっかりと果たす決意を持って、次世代の人達へ健全な国家としての日本を継承してゆく責任が有ると思います。

今年こうした「想定内の問題」が少しでも改善され、明るい日本の未来が描ける年に向かう様、共に努力したいものです。

昨年徳真会グループは創業31年目を迎え、創業30周年謝恩の式典を開催させて頂きました。

30年という歳月の節目を超え、これからの組織のテーマは、「自立と創造の実践」と考えています。

国家危機存亡の時代にあって、国家依存度の低い組織運営を実践する中で、世界で最も優れた歯科医療グループの創造へ挑戦してゆくつもりであります。

今年徳真会グループが取り組む課題として、

1、患者様対応面

- 1) わかば台クリニックでのJCI（世界病院評価）の取得による世界トップレベルの歯科医療施設の完成
- 2) Ustiiny（先端歯科医療センター）本稼働によるマイクロエンド、レーザー治療等、先端医療の普及
- 3) 各地区大学、専門医との連携強化による高度先端医療の更なる充実（インプラント、レーザー、マイクロエンド、^{はてっ}歯周病、高度補綴、審美等）
- 4) 送迎車の実施（仙台地区）
- 5) 仙台地区新設医院オープン

2、組織運営面

- 1) 託児所開設（稲城）
- 2) 介護分野の準備（新潟、仙台地区）
- 3) 世界ネットワークの拡大
 - (1) 技工部門（カナダ、USA、イギリス、台湾、オーストラリア）
 - (2) 診療部門（東京、イギリス、台湾、オーストラリア、USA）
- 4) 徳真会Annual Meeting（第二回）開催（10月）による歯科学術発表と交流の拡大

今年も、国内最大の時代先駆の歯科医療グループとして新たな歯科医療を追求してゆくつもりであります。御意見、御要望等がありましたら、患者様窓口または、現場スタッフへお申し出下さい。

今年が皆様にとって良い年であります事を祈念致しております。

徳真会グループ
理事長 松村 博史